

武庫川女子大学 第8回

研究成果の社会還元促進に 関する発表会

日時:2024年2月15日(木)

発表会:14:00~16:05、異分野交流カフェ:16:15~17:00

会場:武庫川女子大学中央キャンパス KM-B109

Zoom参加も可能(異分野交流カフェは同上ロビーで現地参加のみ)

13:58~14:00	開会挨拶(教育研究社会連携推進室長 大坪 明)
14:00~14:12	発表1:経営学部「実践学習」の概要と成果について (経営学科 時任 啓佑 副手)
14:12~14:24	発表2:武庫川女子大学作「基礎縫い」ICT教材 (生活環境学科 末弘 由佳理 准教授)
14:24~14:36	発表3:女性の社会参画を阻害する要因の可視的考察 (経営学科 藤井 善仁 助教)
14:36~14:48	発表4:ものづくりの学習と英語の学習を統合した内容言語統合型学習(CLIL) (英語グローバル学科 田中 真由美 准教授)
14:48~15:00 休憩5分	発表5:ベトナム人元技能実習生における技能移転とケイパビリティ (英語グローバル学科 加藤 丈太郎 講師)
15:05~15:17	発表6:武庫川団地におけるFood Insecurityにある住民の集団特性と食事摂取状況 (食物栄養学科 脇本 景子 准教授)
15:17~15:29	発表7:アミノナフトチアゾールジオン誘導体の抗菌活性 (女性活躍総合研究所 原口 珠実 嘱託研究員)
15:29~15:41	発表8:鳴尾の水資源と暮らし (生活環境学科 黒田 智子 教授)
15:41~15:53	発表9:高須夏祭りの子どもにとっての意義のコロナ禍を経た再開直後と2年目の比較 (教育研究社会連携推進室 大坪 明 特任教授)
15:53~16:05	発表10:いじめ・不登校等の未然防止に向けた魅力ある学校づくりに関する連携研究(教育研究所 河合 優年 教授)
参加申し込み	参加をご希望の方は右下のQRコードから2月13日(火)までにお申し込みください。(Zoom参加ご希望の方にはご登録いただいたメールアドレス宛に前日までにZoom参加用URLをお送りします。)

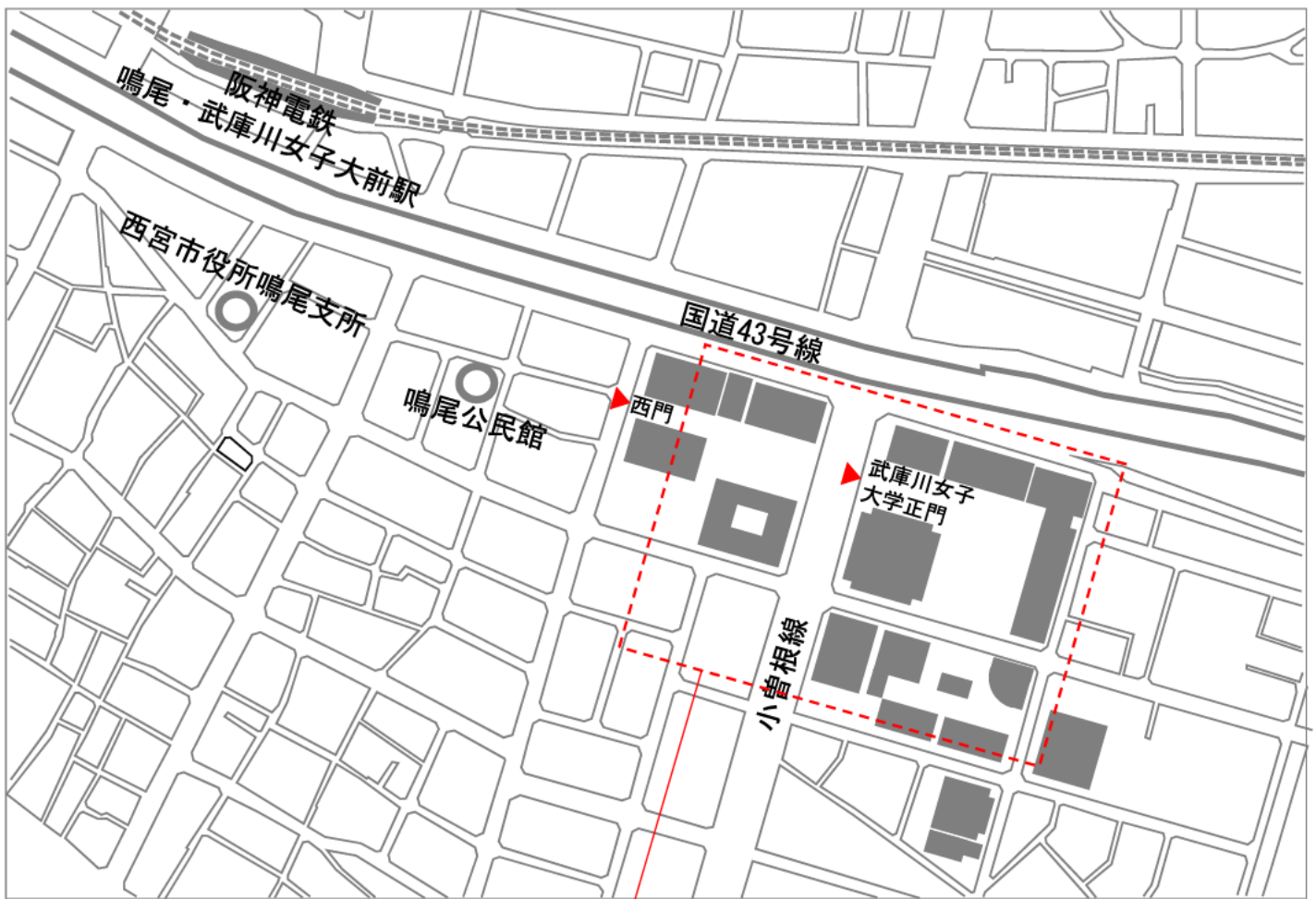
お問い合わせ先

武庫川女子大学教育研究社会連携推進室
〒663-8558 兵庫県西宮市池開町6-46
Tel: 0798-45-9854
E-mail: shakai@mukogawa-u.ac.jp

申込先↓



主催:武庫川女子大学教育研究社会連携推進室
共催:研究開発支援室・女性活躍総合研究所



正門に入り、小曽根線を渡る講堂前の階段を昇り、そのまま小曽根線を渡って階段を降りた右手側が、又は西門から入ると小曽根線の手前の左手側がKM館です。同館の地下が、会場の**KM-B109**教室です。

武庫川女子大学

第8回 研究成果の社会還元促進に関する発表会 発表概要

	発表者	タイトル －サブタイトル－
1	経営学科 副手 時任 啓佑	経営学部「実践学習」の概要と成果について
2	生活環境学科 准教授 末弘 由佳理	武庫川女子大学作「基礎縫い」ICT教材 -10年の歩みと今後の展望-
3	経営学科 助教 藤井 善仁	女性の社会参画を阻害する要因の可視的考察
4	英語グローバル学科 准教授 田中 真由美	ものづくりの学習と英語の学習を統合した内容言語統合型学習（CLIL）
5	英語グローバル学科 講師 加藤 丈太郎	ベトナム人元技能実習生における技能移転とケイパビリティ
6	食物栄養学科 准教授 脇本 景子	武庫川団地におけるFood Insecurityにある住民の集団特性と食事摂取状況
7	女性活躍総合研究所 嘱託研究員 原口 珠実	アミノナフトチアゾールジオン誘導体の抗菌活性 -2-(piperazin-1-yl)naphtho[2,3-d]thiazole-4,9-dione (PNT) の菌体内への取り込み評価と抗菌メカニズム-
8	生活環境学科 教授 黒田 智子	鳴尾の水資源と暮らし - 甲子園筋をめぐる過去・現在・未来 -
9	教育研究社会連携推進室 特任教授 大坪 明	高須夏祭りの子どもにとっての意義のコロナ禍を経た再開直後と2年目の比較 - 令和4年調査の分析の訂正と共に -
10	教育研究所 教授 河合 優年	いじめ・不登校等の未然防止に向けた魅力ある学校づくりに関する連携研究 - ころん・サーモを用いた西宮市教育委員会と教育研究所の取組 -

第8回 研究成果の 社会還元 促進に 関する 発表会 発表概 要	産業	文化・ 芸術	発表者 発表時間	概 要
○	○	○	[14:00 ▶ 14:12] 経営学科 副手 時任 啓佑	経営学部の必修科目である実践学習について、特徴的なプロジェクト何例かの紹介と、参加前後の学生の変化を、インタビューを通じて定性的に比較した。 
○			[14:12 ▶ 14:24] 生活環境学科 准教授 末弘 由佳理	武庫川女子大学では、家庭科の被服分野における「基礎縫い」に関するICT教材を作成し、学外への公開サイトを併設して一般公開している。ここでは、作成した「基礎縫い」ICT教材の利用実態を中心に報告する。 
○			[14:24 ▶ 14:36] 経営学科 助教 藤井 善仁	本研究の目的は、既存研究において検討されていない性別役割分業という観点から過疎地域における女性の社会参画を捉え、これまで女性の意思決定への参画がどのような要因により排除されてきたのかを可視化することにある。 
		○	[14:36 ▶ 14:48] 英語グローバル学科 准教授 田中 真由美	小学生や工学系の学生を対象としたものづくりの学習と英語の学習を統合した内容言語統合型学習（CLIL）のイベントや授業実践を報告し、理工系のCLILの実践や研究に関する今後の展望を述べる。 
	○		[14:48 ▶ 15:00] 英語グローバル学科 講師 加藤 丈太郎	ベトナム人元技能実習生へのインタビューを通じ、日本からベトナムに技能は移転されたのか、また元技能実習生のケイパビリティは向上しているのかを問う。職業上の「技能」を活かして就業している者は少数であったが、多くの者は技能実習制度によって「ケイパビリティ」を向上させていた。 
5分休憩			[15:05 ▶ 15:17] 食物栄養学科 准教授 脇本 景子	本研究は武庫川団地住民の栄養不良と経済的な暮らしのゆとりとの関連に着目し、食料安全保障（Food security）と食事摂取状況との関係を明らかにすることを目的とした。武庫川団地においてFood insecurityを確認し、その集団特性と食事摂取状況から、生活保障の方策として外国籍や低所得の子育て世代の住民などに対する食料支援の必要性を明らかにした。 
		○	[15:17 ▶ 15:29] 女性活躍総合研究所 嘱託研究員 原口 珠実	我々が合成した蛍光化合物の中で最も強い抗菌活性を示した2-(piperazin-1-yl)naphtho[2,3-d]thiazole-4,9-dione (PNT) に着目し、菌体内へのPNTの取り込み量と、PNT取り込み時の菌の形態を評価し、さらにPNTの抗菌メカニズムについて検討した結果を報告する。 
○	○	○	[15:29 ▶ 15:41] 生活環境学科 教授 黒田 智子	武庫川の支流 枝川を止水して誕生した甲子園筋を起点に、水害と旱魃に苦しんだ四百年前から、大規模開発地 甲子園の近代を経て、安全安心の上水の確保と環境汚染が及ぶ地下水の現在、武庫川が注ぐ大阪湾の未来まで、鳴尾の水資源と暮らしを考える。 
○			[15:41 ▶ 15:53] 教育研究社会連携推進室 特任教授 大坪 明	高須団地の夏祭りが、新型コロナによる2年間の休止後の令和4年に再開された時と、再開2年目の令和5年につき、同夏祭りに関する子どもの意識を比較した。令和4年の調査分析で感染症の影響による子どもたちの『友人との「楽しさ」の共有』の希薄化を危惧したが、再分析でその傾向は無いことが判った。 
○			[15:53 ▶ 16:05] 教育研究所 教授 河合 優年	児童生徒のいじめや不登校数が増え続けている。武庫川女子大学と西宮市教育委員会の共同研究グループは、これらの不適応行動を予防的に把握し支援につなげるために、子どもたちの心の状態を継続的に測定するタブレットを用いた支援ツールを開発した。 